医師の働き方は これでいいの??

落語を聞いて考えよう！

「エンマの願い」 桂　三風さん

8月31日(土) 13時半スタート ～16時半終了

会場　栗橋文化会館(イリス)ホール

第2部：医師の過労死遺族からの訴え、他

中原のり子さん(夫が小児科医で過労自死、娘さんも医師)

コーディネーターには、おなじみ本田宏先生が！

4月から、「働き方改革」法が施行されていますが、医師には、5年間の猶予措置が設けられ、当面の時間外労働は、「地域医療確保のため」、1860時間までは可能、という厚労省検討会での基準が答申されています。

「医師だって、人間じゃないの？」普通の人が過労死になるような倍の時間外労働をやってもOKだなんて、なにかおかしくありませんか？　医師不足だからこそ、「医師の働き方」に、私たち地域住民も目を向けていかないといけないのでは？

ということで、第4回目の総会は、「落語を聞いて考えよう！過労死社会」を企画しました。

落語家・桂　三風さん

1961 年、滋賀県生まれ。1984 年に桂三枝（現、六代目桂文枝）師匠に入門。師匠より、「落語会の新しい風になれ！」との願いを込めて、名付けられる。その名の通り、風刺の効いた創作落語を持ち味とし、常に時代を感じ、型にはまらない柔軟なスタイルで注目されている。得に会場のお客様も参加する「客席参加型落語」は、三風独特のスタイルで、まさに落語界に新風を吹き込んでいる。

主催：利根地域の医療・介護・福祉を良くする会

連絡先：
〒340-0217　久喜市菖蒲 58-5
埼玉土建久喜幸手支部　気付
埼北労連　内
TEL 0480-59-3812

行き方：栗橋駅西口から東武線沿いに歩き、北彩高校入口交差点を左に曲がり、線路を越え左手B＆Gの先